

肝胆膵内科学

[M6-70046P1]

1 臨床実習の概要

肝胆膵内科学実習では、肝胆膵領域をはじめとした消化器領域の疾患を持つ患者の診療に積極的に参加し、内科一般と主に肝胆膵領域の主要な病態、診断、治療を理解し、患者とチームメンバーを尊重した肝胆膵領域の疾患に関わる医療を学ぶ。ユニット講義の学習を発展させ、臨床実習だけではなく、関連のユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技能
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探求心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係をつくることのできる（①④）
- 肝胆膵領域の疾患を通して疾患を探究する方法論（文献検索と理解など）を実践できる（②③⑥）
- 肝胆膵領域の疾患の症例を自ら学び、まとめ、症例提示をすることができる（③⑥）
- 肝胆膵領域の疾患の患者を通して…
 - ・ 医療面接、身体診察など基本的な情報収集ができる（③）
 - ・ 収集した情報から臨床問題の提示、主要な鑑別診断を上げることができる（③）
 - ・ 臨床的諸問題に対して初期計画（診断、治療、教育）を立案できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、診断基準を説明できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における必要な検査、治療、合併症、予後の要点を説明できる（③）
 - ・ 基本的な検査を実施し、結果を解釈できる（③）
- 肝胆膵領域の医療に関わる…
 - ・ 多職種・チーム医療に学生として参加できる（④）

- ・ 社会制度（厚生医療など）を説明できる（④⑤）

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

腹痛、悪心・嘔吐、嚥下障害、食欲不振、吐血、下血、便通異常、黄疸、肝腫大、脾腫、腹水、腹部腫瘤

疾患

肝疾患：ウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、アルコール性肝障害、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）、薬物性肝障害、代謝性肝障害（Wilson 病など）、体質性黄疸、肝硬変、肝腫瘍（原発性肝癌、転移性肝腫瘍）、肝血管腫、肝嚢胞、肝膿腫
胆・膵疾患：胆石（胆嚢結石・総胆管結石）、急性胆嚢炎、急性胆管炎、原発性硬化性胆管炎、胆嚢腺筋腫症、胆嚢ポリープ、胆嚢癌、胆管癌、急性・慢性膵炎、腫瘤形成性膵炎、自己免疫性膵炎（IgG4 関連疾患）、膵・胆管合流異常、膵形成（発生）異常、膵癌、膵嚢胞性腫瘍（IPMN、MCN、VSCN、SPN）、膵神経内分泌腫瘍

食道疾患：食道静脈瘤、逆流性食道炎、食道癌、アカラシア、バレット食道、Mallory-Weiss 症候群、胃・十二指腸疾患：慢性胃炎、Helicobacter pylori 感染症、急性胃・十二指腸粘膜病変、消化性潰瘍、機能性ディスぺプシア、胃癌、悪性リンパ腫、GIST、消化管カルチノイド

小腸・大腸疾患：クローン病、潰瘍性大腸炎、虚血性腸炎、偽膜性腸炎、腸結核、腸管ベーチェット、感染性腸炎（含アメーバ）、過敏性腸症候群、大腸癌、悪性リンパ腫、GIST、消化管神経内分泌腫瘍、消化管ポリポース

治療

各種薬物療法（含、抗ウイルス薬、抗腫瘍薬、分子標的薬）、経皮的ラジオ波焼灼療法（RFA）、経カテーテル的肝動脈化学塞栓療法（TACE）、内視鏡的胆道ドレナージ（EBD）、内視鏡的結石除去術、経皮経肝胆道ドレナージ（PTBD）、経皮経胆嚢ドレナージ（PTGBD）、超音波内視鏡下穿刺制吸引法（EUS・FNA）、超音波内視鏡下肝内胆管胃瘻孔形成（EUS-HGS）、超音波内視鏡下膵仮性嚢胞ドレナージ（EUS-CD）、超音波内視鏡下胆道ドレナージ（EUS-BD）、内視鏡的静脈瘤硬化療法（EIS）、内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）、バルーン閉塞下経静脈的塞栓術（B-RTO）、内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、腹水濾過濃縮再静注法（CART）

検査・医用機器など

超音波検査（造影含む）、CT/MRI 検査、血管造影、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）、超音波内視鏡検査（EUS）、超音波内視鏡下穿刺吸引検査（EUS-FNA）、消化管内視鏡検査（上部・下部・十二指腸・ダブルバルーン）、カプセル内視鏡検査（小腸・大腸）、消化管造影検査（胃・大腸・低緊張十二指腸・小腸）、腹水穿刺、肝生検

4 方 略

病棟、ならびに外来臨床実習、CSC にて超音波検査、消化管内視鏡検査トレーニングを行う。

5 事前事後学修について

臨床実習開始前に肝胆膵内科領域の各疾患を復習しておくこと

【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

実習1日あたり 予習：60分 復習：60分

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当患者の症例提示や口頭試問については実習中のクルズスで適宜フィードバックを行う。

7 評 価

評価項目	評価割合
臨床実習出席（出席表）	50%
実習レポート（担当症例のレポート）	5 %
担当患者症例提示	5 %
口頭試問	40 %
その他	0 %
上記の評価項目を総合的に判定する。	

8 実習スケジュール

別項参照

9 教 育 担 当 者

実習責任者：土島 睦

担当教員：土島 睦、堤 幹宏、利國 信行、尾崎 一品、齊藤 隆、久保田 龍一、
山形 光慶、楠野 颯樹、津村 崇

10 参考図書・文献

購入すべき図書

1. 新臨床内科学 第10版 医学書院

購入するとよい図書

1. 内科診断学 第4版 医学書院
2. 内科診断学 改訂第17版 南江堂
3. 内科学 (第12版) 朝倉書店

肝胆膵内科学

週間スケジュール

		8:20	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1週目	月	肝内		オリエンテーション (医局) [土島]	内視鏡実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター) [山形 他]			疾患・病態 クルズス [土島]	検査実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター、透視室等) [山形 他]			
	火	肝内		胃透視実習と解説 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (透視室) [土島 他]	肝生検実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (病棟) [久保田 他]			疾患・病態 クルズス [土島]	腹部超音波検査・シミュレーション実習 手技、声かけ、術前後の準備を含む (クリニカルシミュレーションセンター) [土島]	検査実習 (内視鏡センター、透視室、CTアンギオ室等) [久保田他]		
	水	肝内		新患者の予診 (外来) [土島 他]				検査実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター、透視室等) [斎藤 他]		疾患・病態 クルズス [土島]	教授回診 (病棟) [土島]	
	木	肝内		内視鏡実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター) [楠野 他]				自己学習	疾患・病態 クルズス [土島]	検査実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター、透視室等) [山形 他]		
	金	肝内		国家対策講義				検査実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター、透視室、CTアンギオ室等) [津村 他]				
2週目	月	肝内		内視鏡実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター) [山形 他]				疾患・病態 クルズス [土島]	検査実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター、透視室等) [山形 他]			
	火	肝内		胃透視実習と解説 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (透視室) [土島 他]	肝生検実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (病棟) 久保田 他]			疾患・病態 クルズス [土島]	検査実習 (内視鏡センター、透視室、CTアンギオ室等) [久保田他]			
	水	肝内		新患者の予診 (外来) [土島 他]				検査実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター、透視室等) [斎藤 他]		疾患・病態 クルズス [土島]	教授回診 (病棟) [土島]	
	木	肝内		内視鏡実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター) [楠野 他]				自己学習	疾患・病態 クルズス [土島]	検査実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター、透視室等) [山形 他]		
	金	肝内		国家対策講義				検査実習 術前処置から術後管理まで 患者の移動の補助・エスコート (内視鏡センター、透視室、CTアンギオ室等) [津村 他]				